

第Ⅲ部 調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。

第1章 暮らし全般について【問1～問5】

1 生活総合満足度【問1】

【全体の状況】

現在の生活全般についてどの程度満足しているか尋ねたところ、「たいへん満足している」(5.5%)と「どちらかといえば満足している」(43.7%)を合わせた《満足している》は49.2%であった。

一方、「たいへん不満である」(5.7%)と「どちらかといえば不満である」(18.5%)を合わせた《不満である》は24.2%で、《満足している》が《不満である》を25.0ポイント上回った。

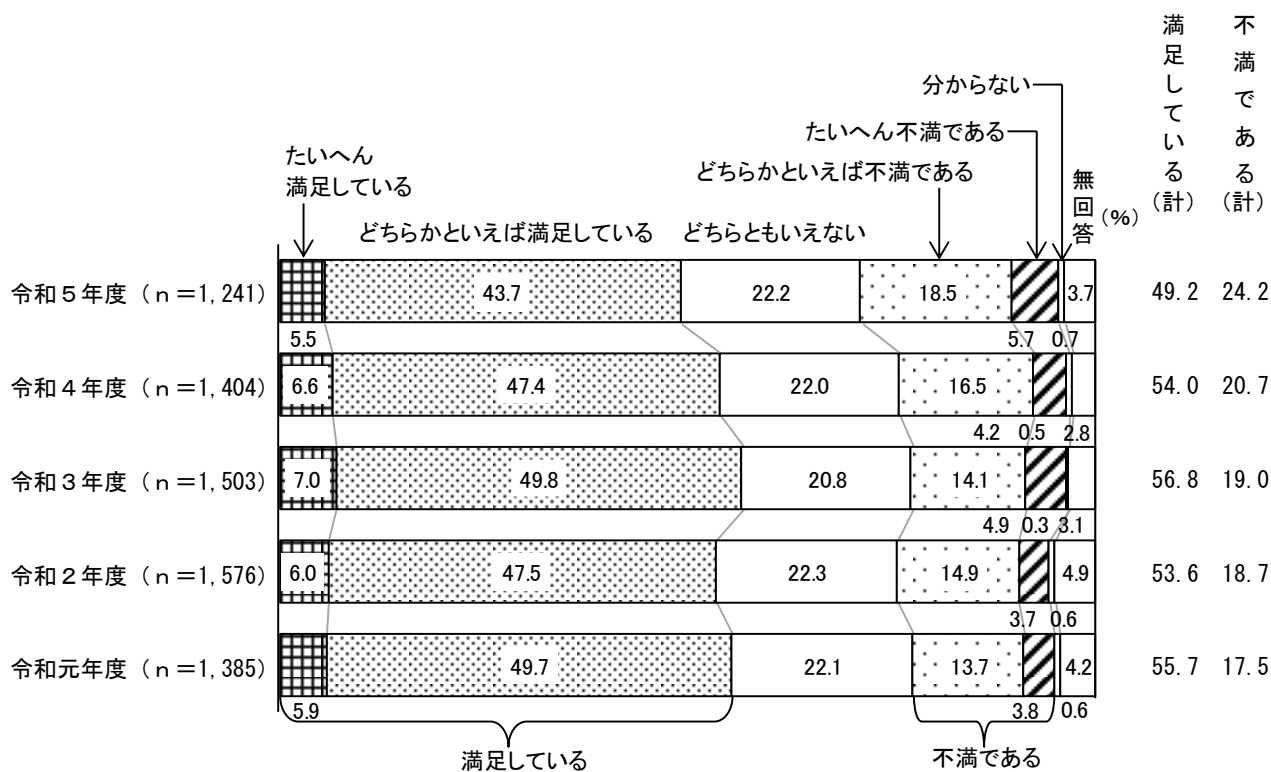
また、「どちらともいえない」は、22.2%であった。(図表1-1-1)

【過去との比較】

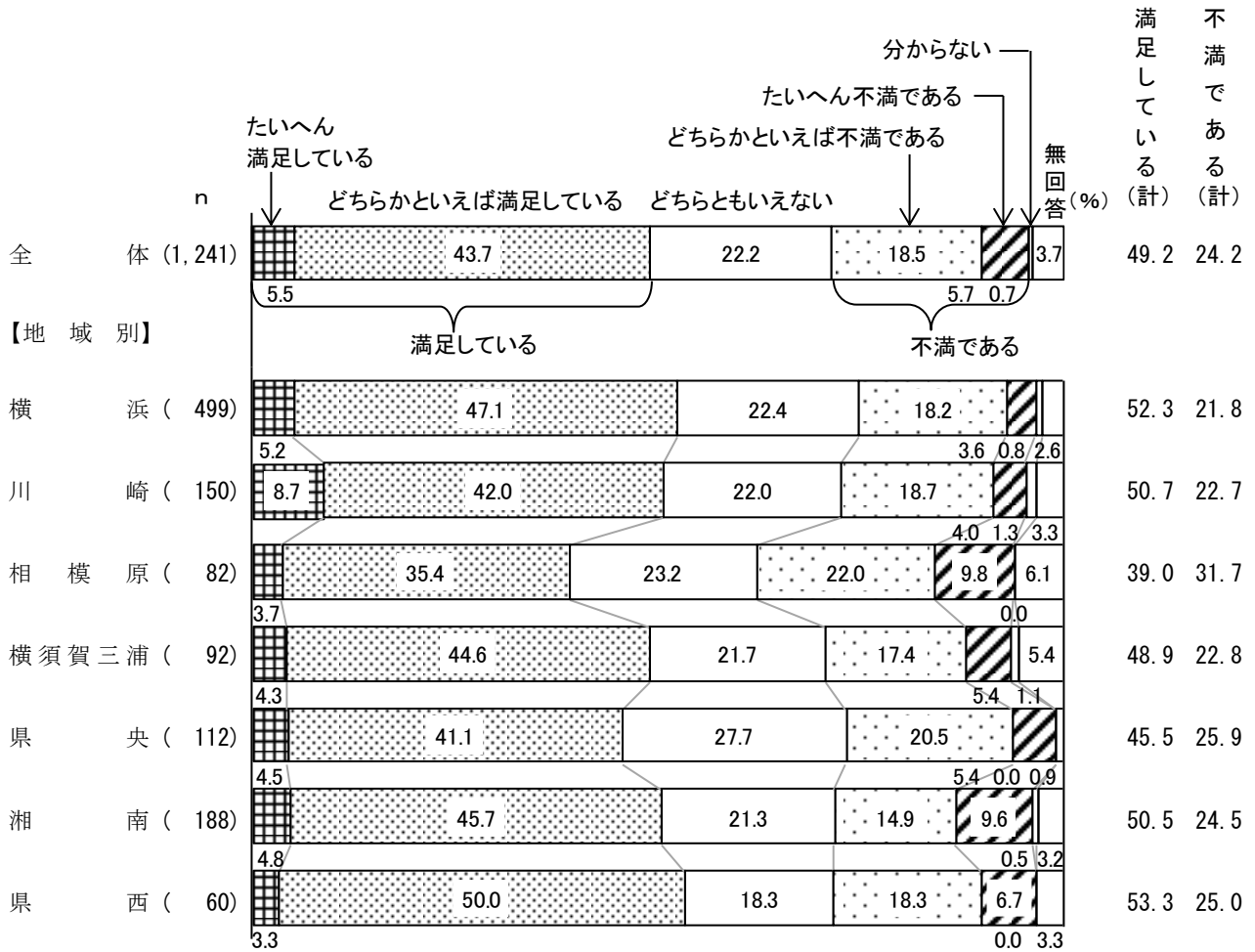
過去の調査と比較すると、《満足している》では、令和4年度は令和3年度と比べて2.8ポイント減(56.8%→54.0%)で、令和5年度は令和4年度と比べて4.8ポイント減(54.0%→49.2%)となった。

一方、《不満である》では、令和4年度は令和3年度と比べて1.7ポイント増(19.0%→20.7%)で、令和5年度は令和4年度と比べて3.5ポイント増(20.7%→24.2%)となった。(図表1-1-1)

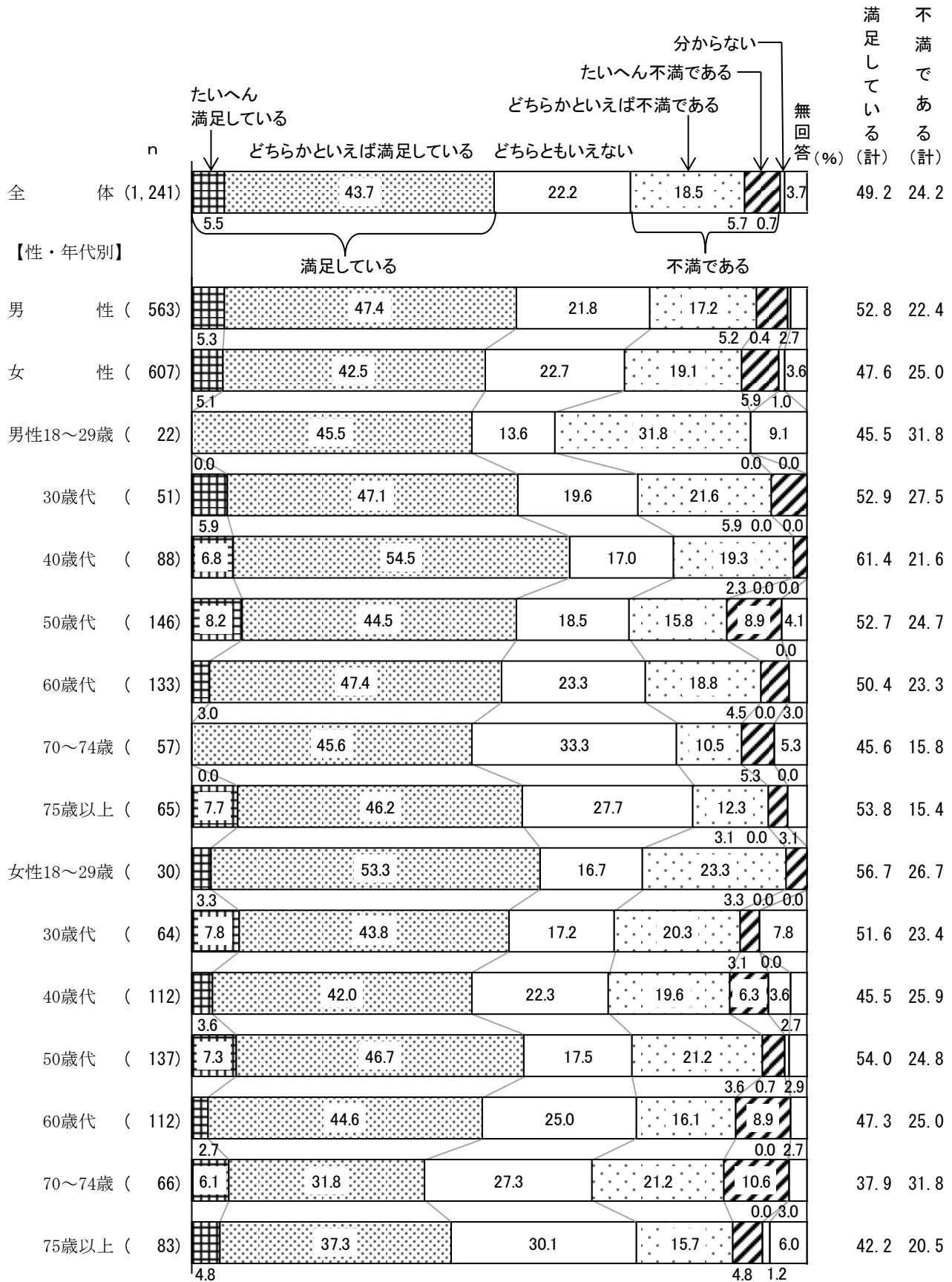
図表1-1-1 生活総合満足度—過去との比較



図表1-1-2 生活総合満足度—地域別



図表1-1-3 生活総合満足度—性・年代別



2 暮らし向きの変化【問2～問2-1】

【全体の状況】

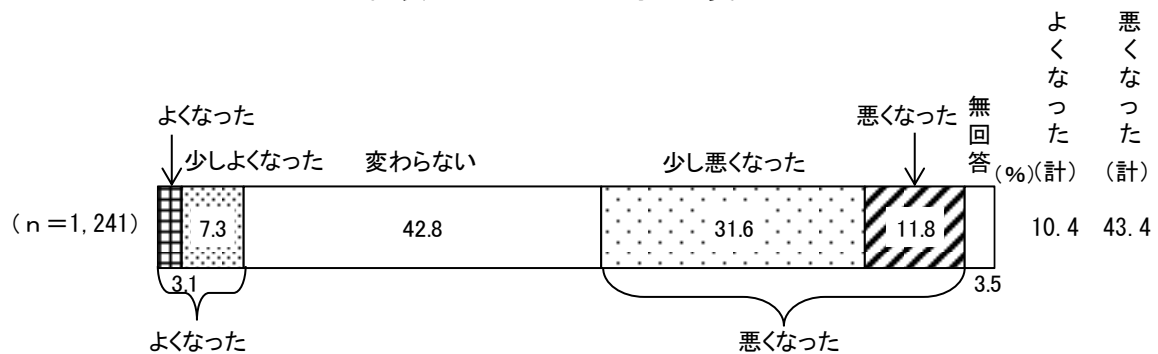
昨年と比較した現在の暮らし向きの変化について尋ねたところ、「よくなった」(3.1%)と「少しよくなった」(7.3%)を合わせた《よくなった》は10.4%であった。

一方、「悪くなった」(11.8%)と「少し悪くなった」(31.6%)を合わせた《悪くなった》は43.4%で、《悪くなった》が《よくなった》を33.0ポイント上回った。

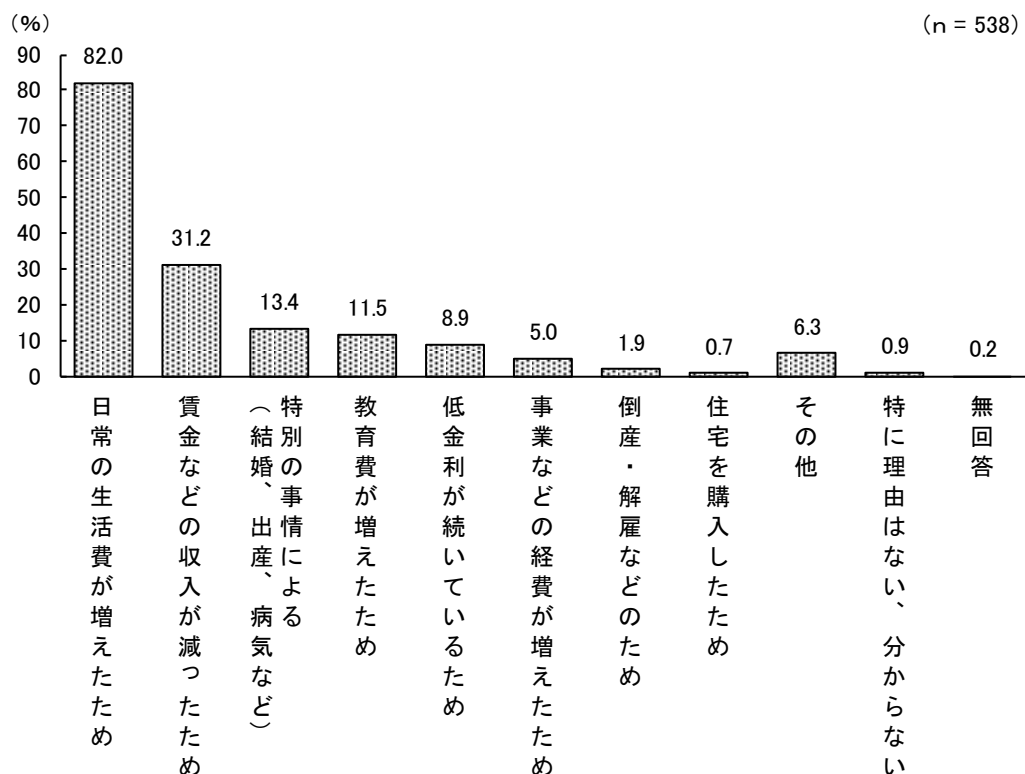
また、「変わらない」は、42.8%であった。(図表1-2-1)

暮らし向きが《悪くなった》と回答した538人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「日常生活費が増えたため」が82.0%で最も多く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が31.2%であった。(図表1-2-2)

図表1-2-1 暮らし向きの変化



図表1-2-2 暮らし向きが悪くなった理由(複数回答)

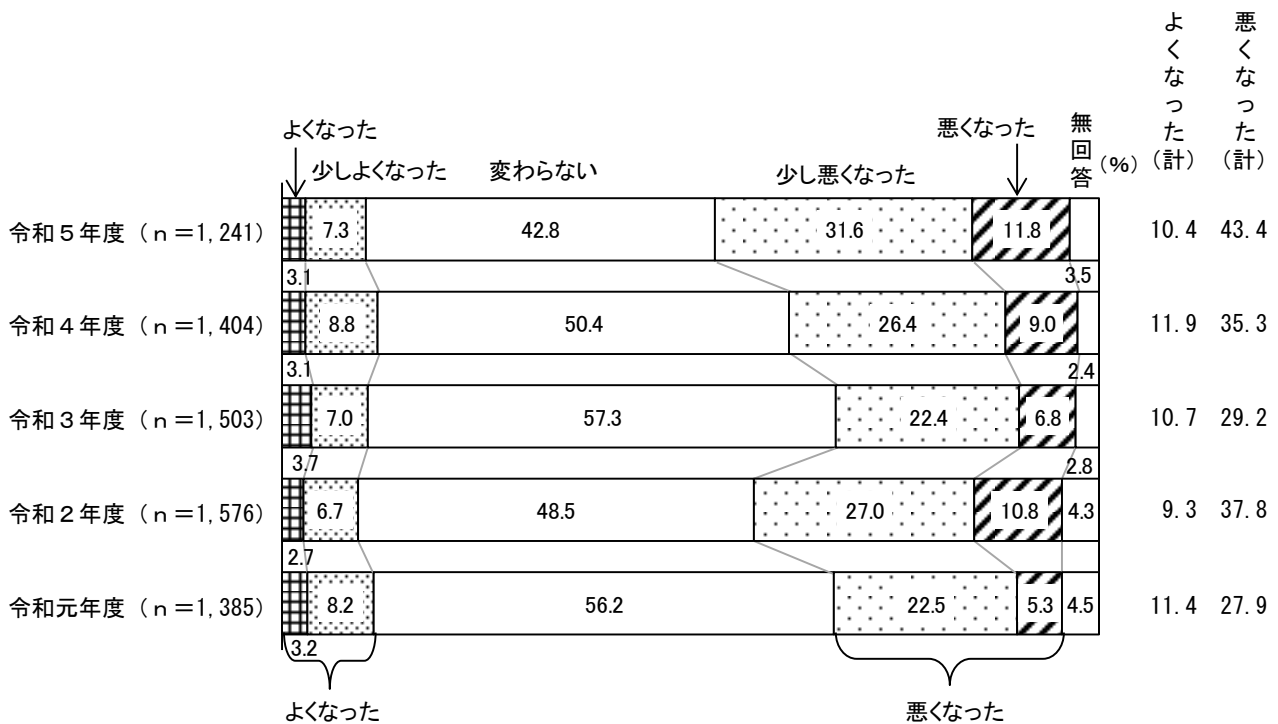


【過去との比較】

くらし向きの変化を過去の調査と比較すると、《よくなった》は、令和4年度は令和3年度と比べて1.2ポイント増（10.7%→11.9%）で、令和5年度は令和4年度と比べて1.5ポイント減（11.9%→10.4%）となった。

一方、《悪くなった》は、令和4年度は令和3年度と比べて6.1ポイント増（29.2%→35.3%）で、令和5年度は令和4年度と比べて8.1ポイント増（35.3%→43.4%）となった。（図表1-2-3）

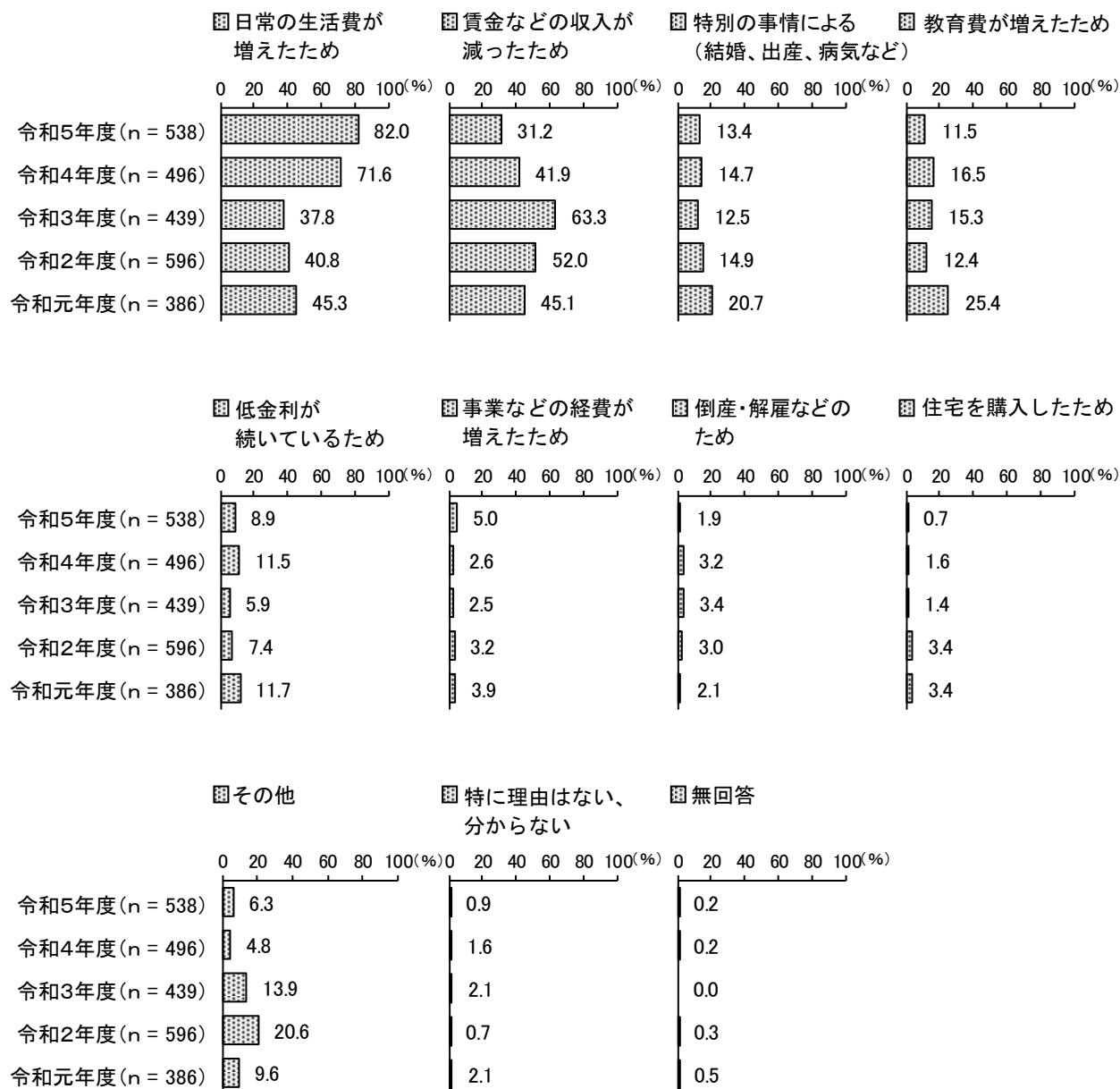
図表1-2-3 くらし向きの変化－過去との比較



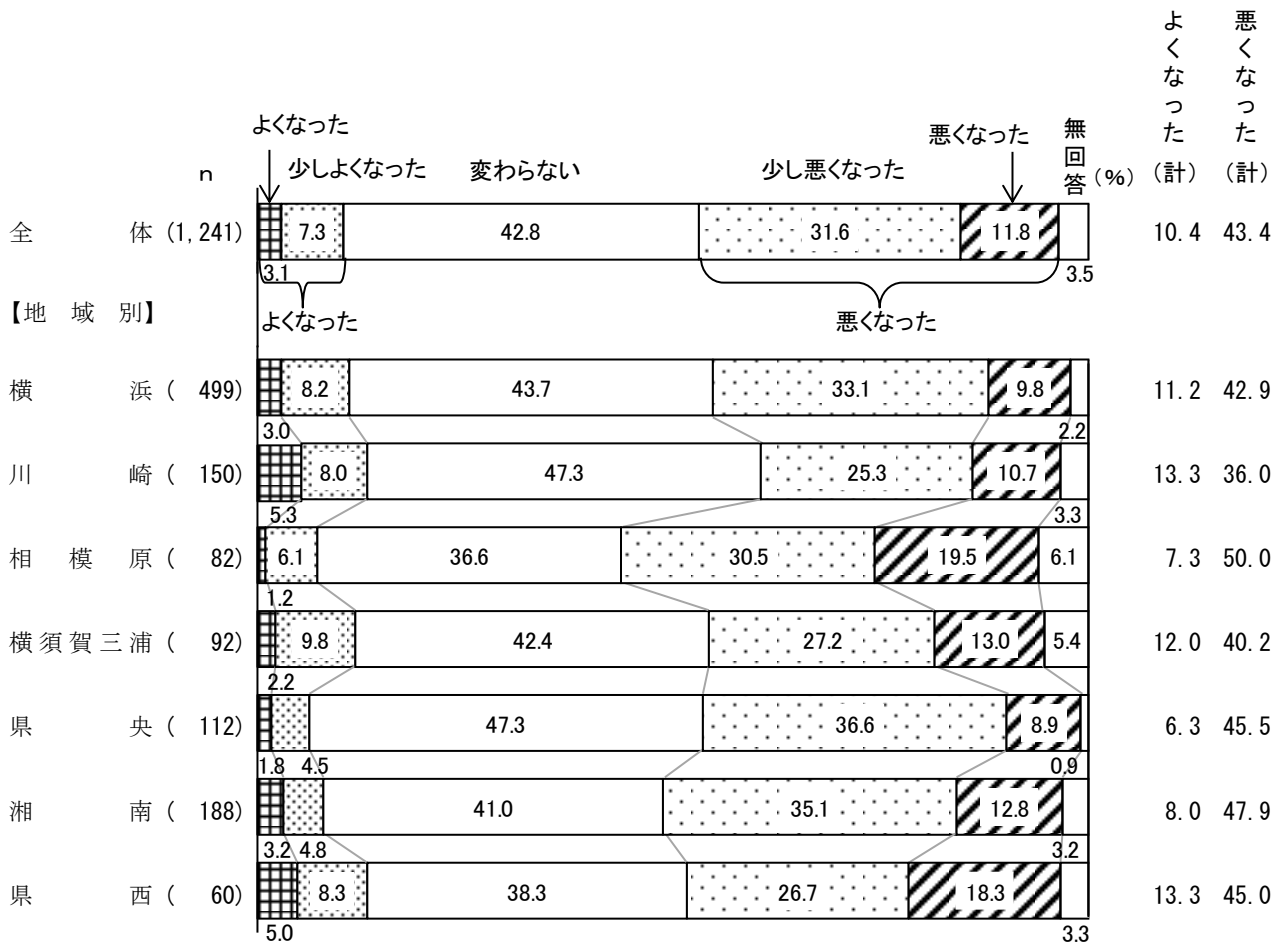
暮らし向きが《悪くなった》理由を過去の調査と比較すると、「日常の生活費が増えたため」は、令和4年度と比べて10.4ポイント増（71.6%→82.0%）となり、最も増加した項目であった。

一方、「賃金などの収入が減ったため」は、令和4年度と比べて10.7ポイント減（41.9%→31.2%）となり、最も減少した項目であった。（図表1-2-4）

図表1-2-4 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－過去との比較



図表1-2-5 くらし向きの変化—地域別

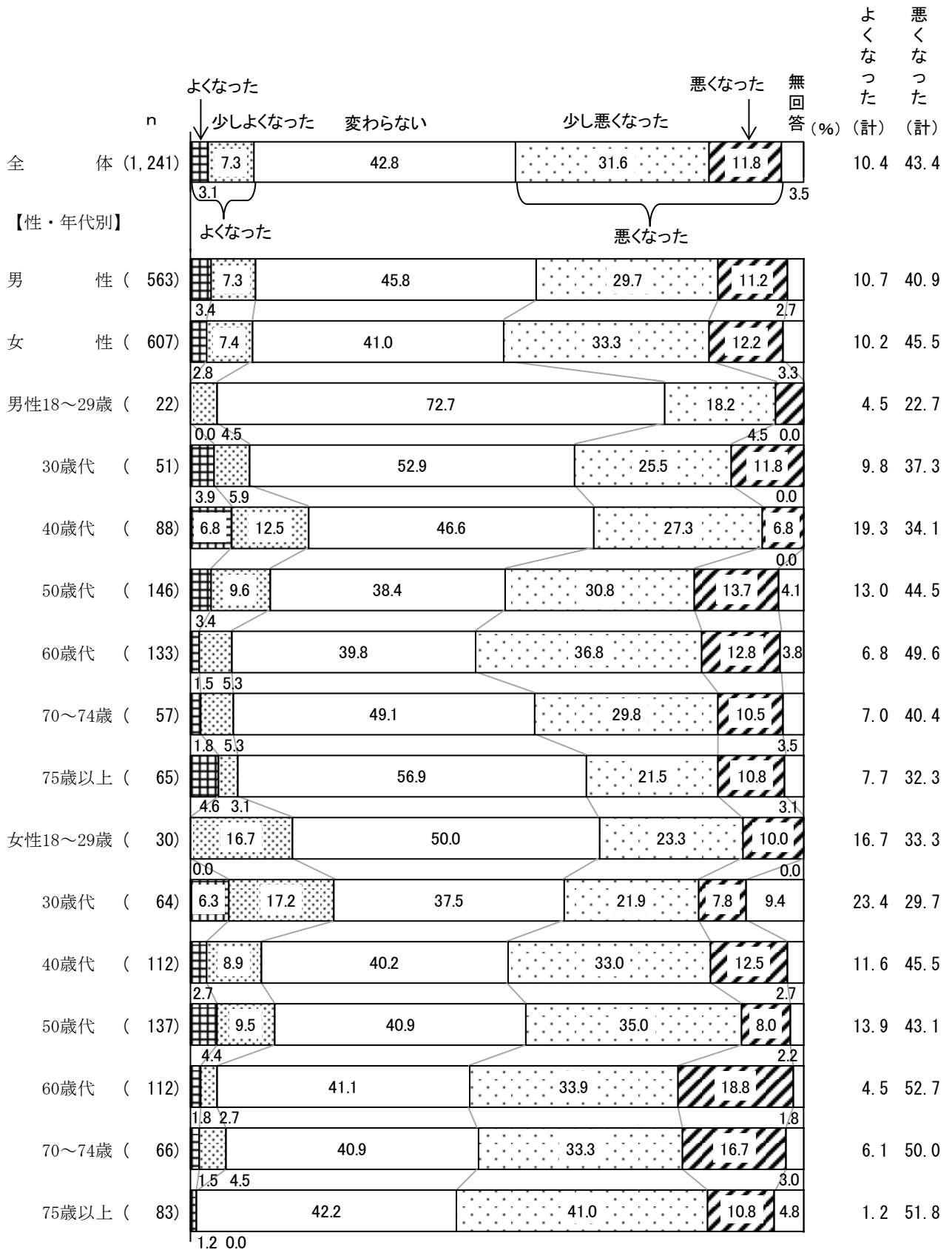


図表1-2-6 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－地域別

(%)

	n	日常生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	特別の事情による（結婚、出産、病気など）	教育費が増えたため	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	538	82.0	31.2	13.4	11.5	8.9	5.0	1.9	0.7	6.3	0.9	0.2
【地 域 別】												
横 浜	214	82.7	30.4	14.0	13.1	7.9	6.5	1.9	0.9	5.1	0.5	0.5
川 崎	54	90.7	40.7	11.1	13.0	5.6	5.6	1.9	1.9	3.7	-	-
相 模 原	41	82.9	34.1	22.0	12.2	2.4	2.4	-	-	4.9	-	-
横須賀三浦	37	70.3	35.1	13.5	5.4	5.4	5.4	-	-	10.8	-	-
県 央	51	88.2	23.5	5.9	11.8	13.7	7.8	-	2.0	7.8	-	-
湘 南	90	80.0	31.1	15.6	13.3	12.2	2.2	1.1	-	8.9	3.3	-
県 西	27	74.1	29.6	11.1	-	14.8	-	11.1	-	7.4	-	-

図表1-2-7 暮らし向きの変化—性・年代別



図表1-2-8 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－性・年代別

(%)

	n	日常の生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	産、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	教育費が増えたため	低金利が続いているため	事業などの経費が増えたため	倒産・解雇などのため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	538	82.0	31.2	13.4	11.5	8.9	5.0	1.9	0.7	6.3	0.9	0.2
【性・年代別】												
男 性	230	80.0	28.7	11.7	7.8	8.7	7.0	2.2	1.7	6.5	0.9	0.4
女 性	276	83.7	33.3	15.6	15.2	9.1	3.6	1.4	-	6.2	0.7	-
男性 18～29歳	5	100.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
30 歳 代	19	78.9	10.5	21.1	5.3	5.3	-	-	-	15.8	-	-
40 歳 代	30	90.0	13.3	3.3	23.3	6.7	13.3	3.3	6.7	3.3	-	-
50 歳 代	65	76.9	40.0	13.8	15.4	6.2	6.2	3.1	1.5	6.2	1.5	-
60 歳 代	66	72.7	34.8	13.6	-	15.2	12.1	1.5	1.5	4.5	1.5	-
70～74歳	23	87.0	26.1	4.3	-	4.3	-	-	-	8.7	-	-
75歳以上	21	85.7	14.3	9.5	-	9.5	-	4.8	-	9.5	-	4.8
女性 18～29歳	10	80.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	30.0	-	-
30 歳 代	19	89.5	21.1	26.3	36.8	-	-	-	-	5.3	-	-
40 歳 代	51	96.1	13.7	11.8	41.2	7.8	7.8	2.0	-	13.7	-	-
50 歳 代	59	81.4	50.8	13.6	16.9	8.5	3.4	1.7	-	1.7	3.4	-
60 歳 代	59	83.1	44.1	20.3	3.4	16.9	1.7	-	-	5.1	-	-
70～74歳	33	78.8	33.3	15.2	-	3.0	3.0	3.0	-	3.0	-	-
75歳以上	43	74.4	25.6	11.6	2.3	9.3	2.3	2.3	-	2.3	-	-

3 今後の暮らし向きの見通し【問3】

【全体の状況】

今後の暮らし向きの見通しを尋ねたところ、「明るい」(3.3%)と「やや明るい」(8.9%)を合わせた《明るい》は12.2%であった。

一方、「暗い」(13.8%)と「やや暗い」(28.2)を合わせた《暗い》は42.0%となり、《暗い》が《明るい》を29.8ポイント上回った。

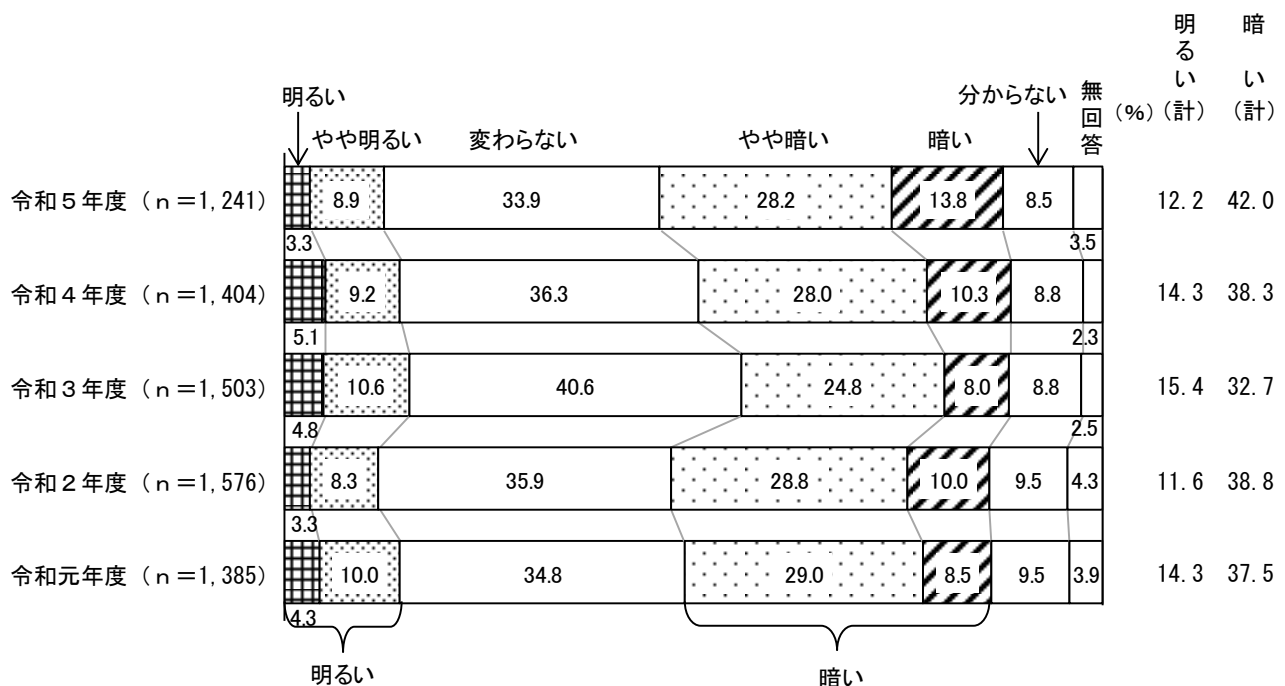
また、「変わらない」は、33.9%であった。(図表1-3-1)

【過去との比較】

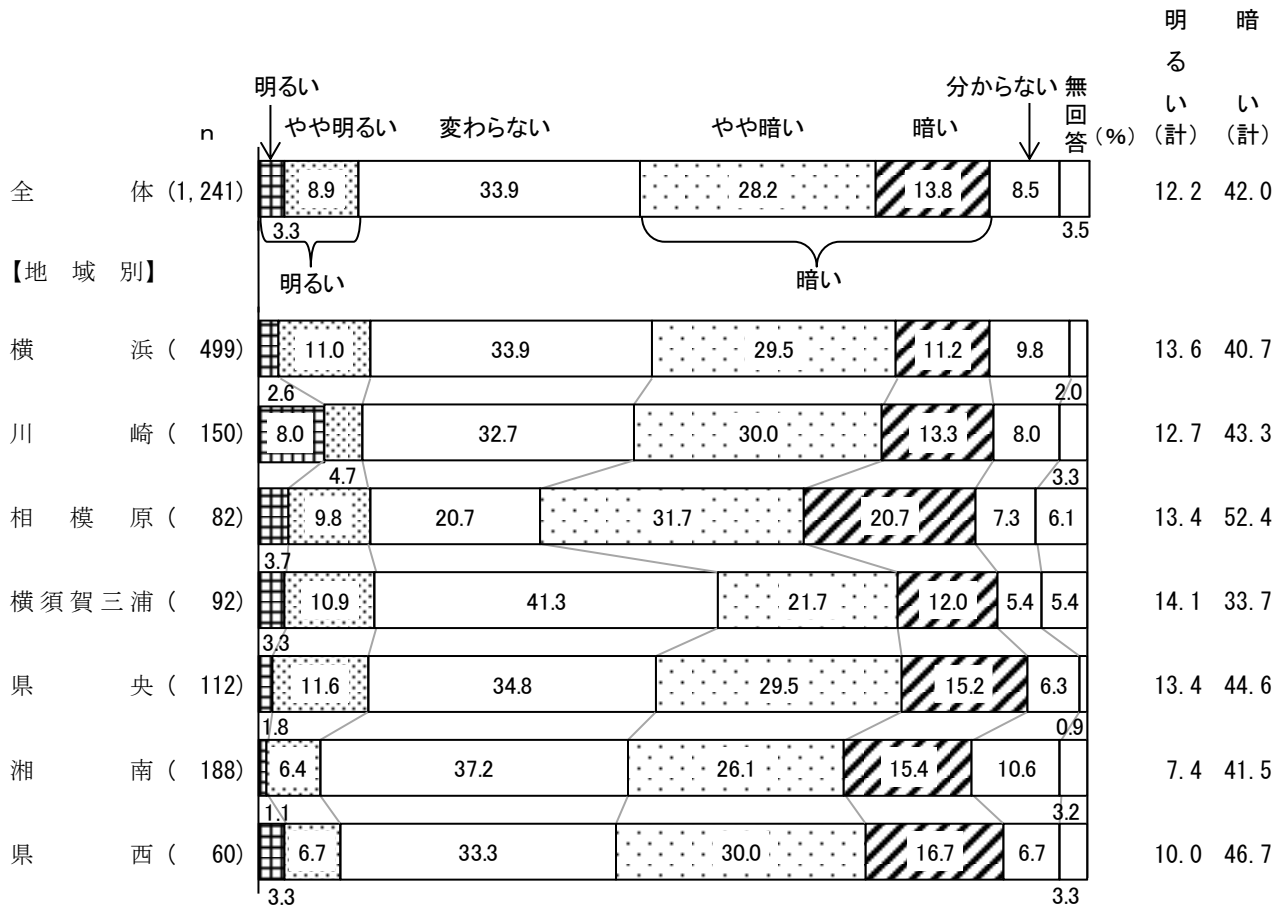
過去の調査と比較すると、《明るい》は、令和4年度は令和3年度と比べて1.1ポイント減(15.4%→14.3%)で、令和5年度は令和4年度と比べて2.1ポイント減(14.3%→12.2%)となった。

一方、《暗い》は、令和4年度は令和3年度と比べて5.6ポイント増(32.7%→38.3%)で、令和5年度は令和4年度と比べて3.7ポイント増(38.3%→42.0%)となった。(図表1-3-1)

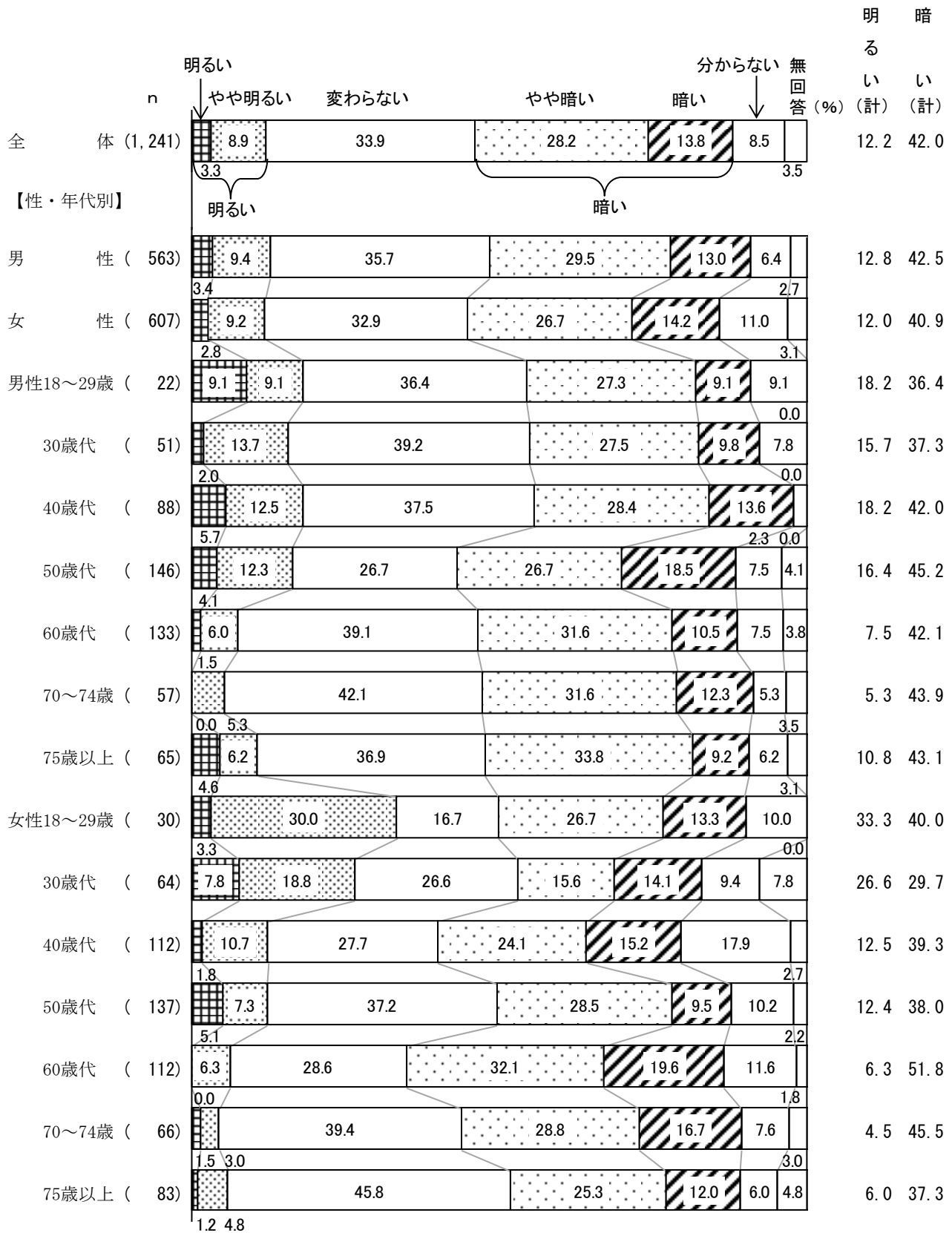
図表1-3-1 今後の暮らし向きの見通し—過去との比較



図表1-3-2 今後の暮らし向きの見通し—地域別



図表1-3-3 今後の暮らし向きの見通し－性・年代別



4 地域の住みよさ【問4】

【全体の状況】

現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねたところ、「たいへん住みよい」(15.5%)と「どちらかといえば住みよい」(54.6%)を合わせた《住みよい》は70.0%であった。

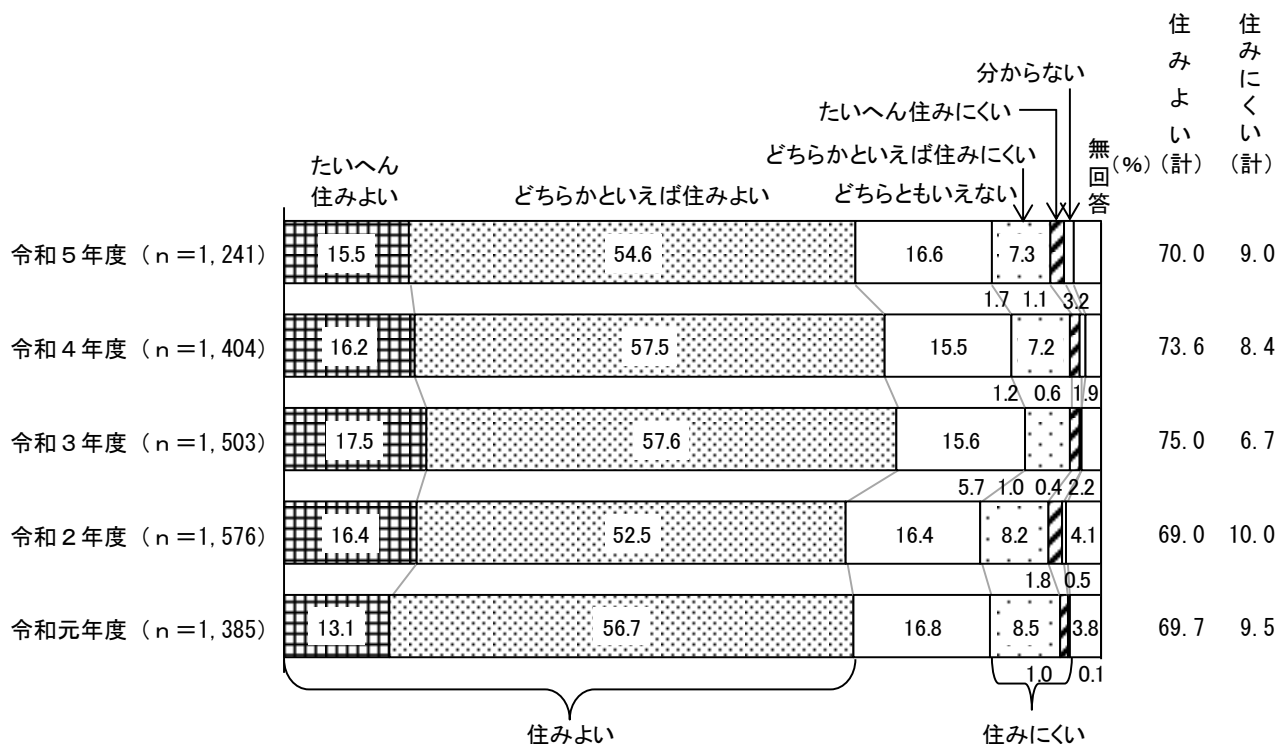
一方、「たいへん住みにくい」(1.7%)と「どちらかといえば住みにくい」(7.3%)を合わせた《住みにくい》は9.0%で、《住みよい》が《住みにくい》を61.0ポイント上回った。(図表1-4-1)

【過去との比較】

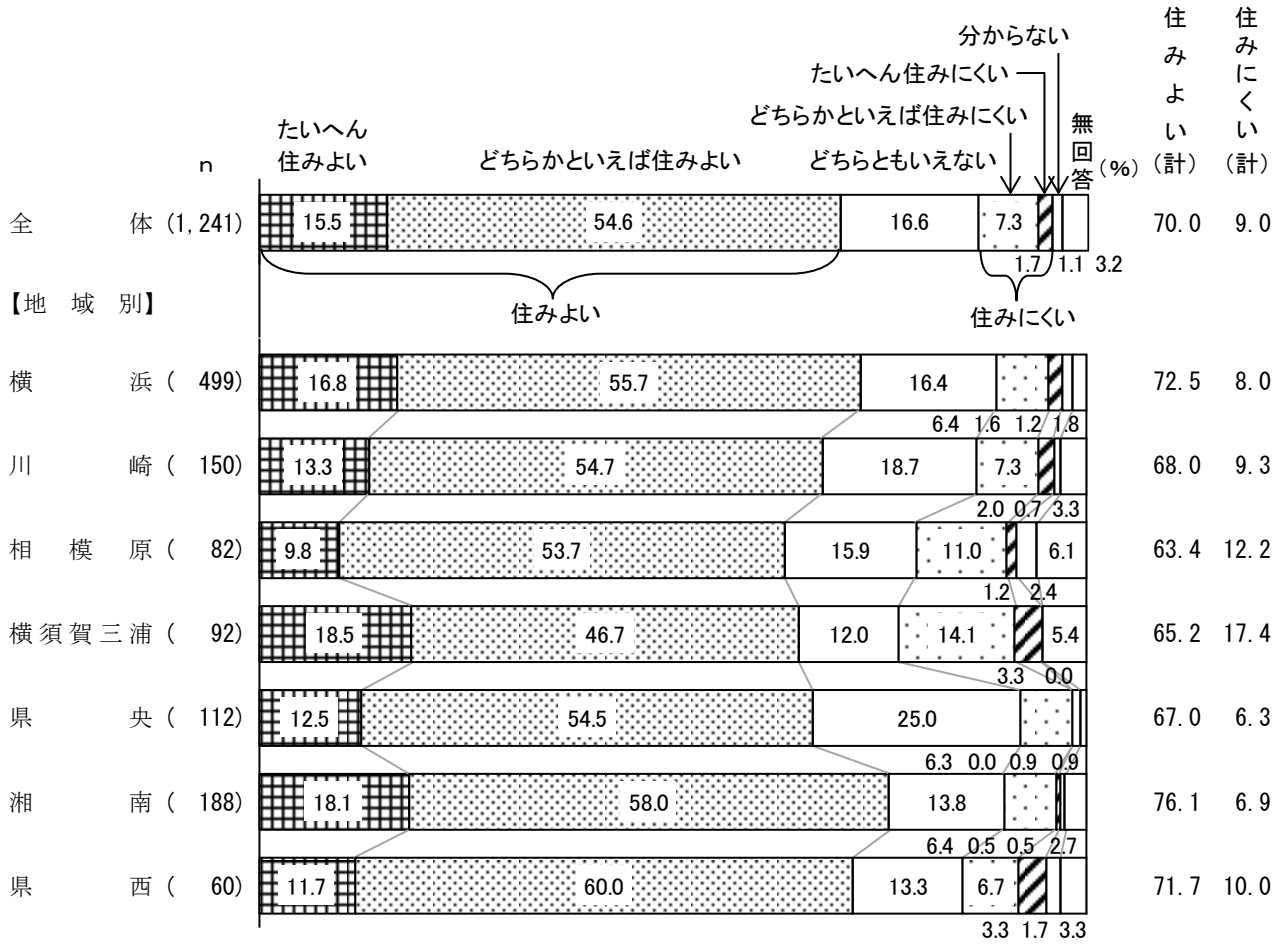
過去の調査と比較すると、《住みよい》は、令和4年度は令和3年度と比べて1.4ポイント減(75.0%→73.6%)で、令和5年度は令和4年度と比べて3.6ポイント減(73.6%→70.0%)となった。

一方、《住みにくい》は、令和4年度は令和3年度と比べて1.7ポイント増(6.7%→8.4%)で、令和5年度は令和4年度と比べて0.6ポイント増(8.4%→9.0%)となった。(図表1-4-1)

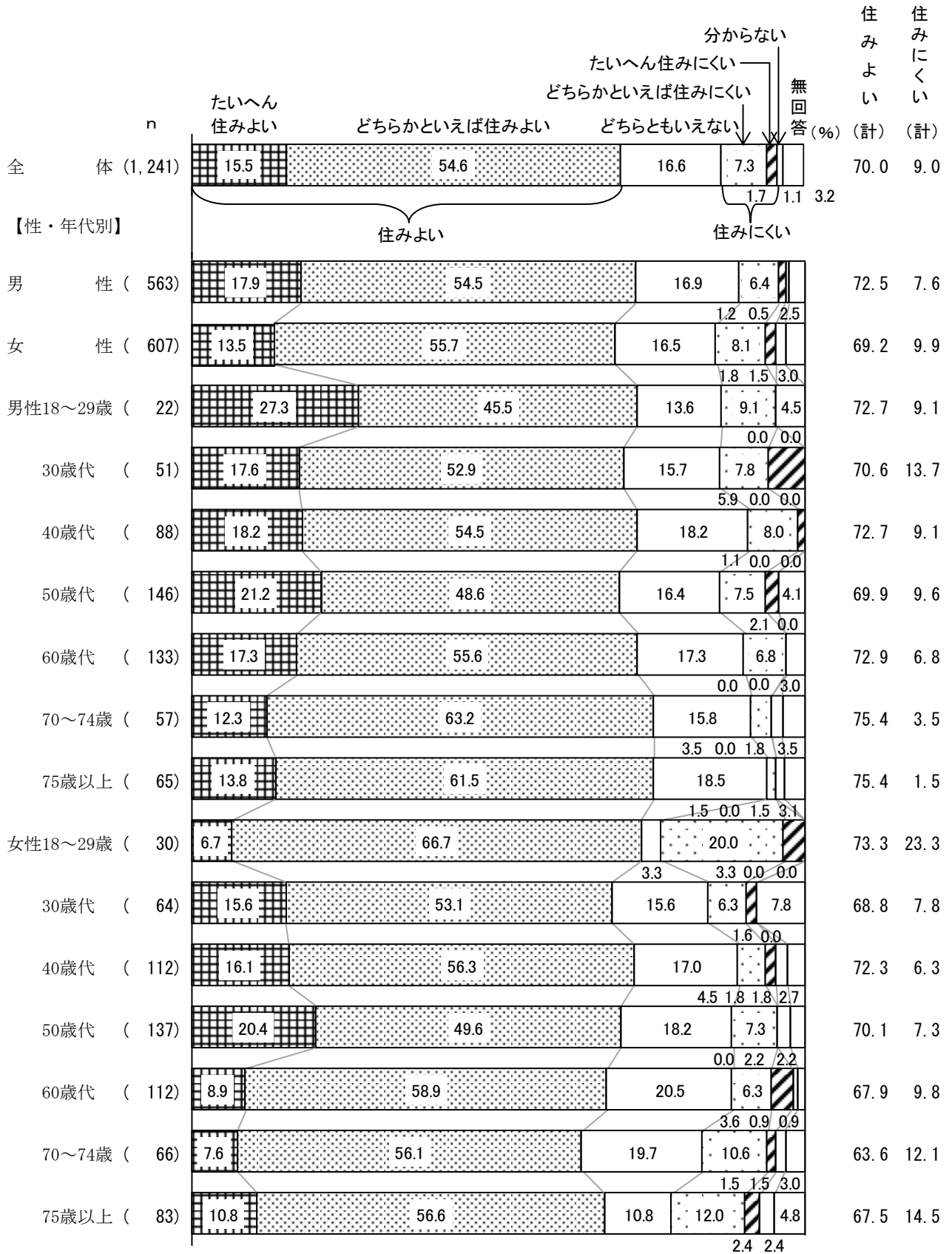
図表1-4-1 地域の住みよさー過去との比較



図表1-4-2 地域の住みよさ—地域別



図表1-4-3 地域の住みよさー性・年代別



5 定住意向【問5】

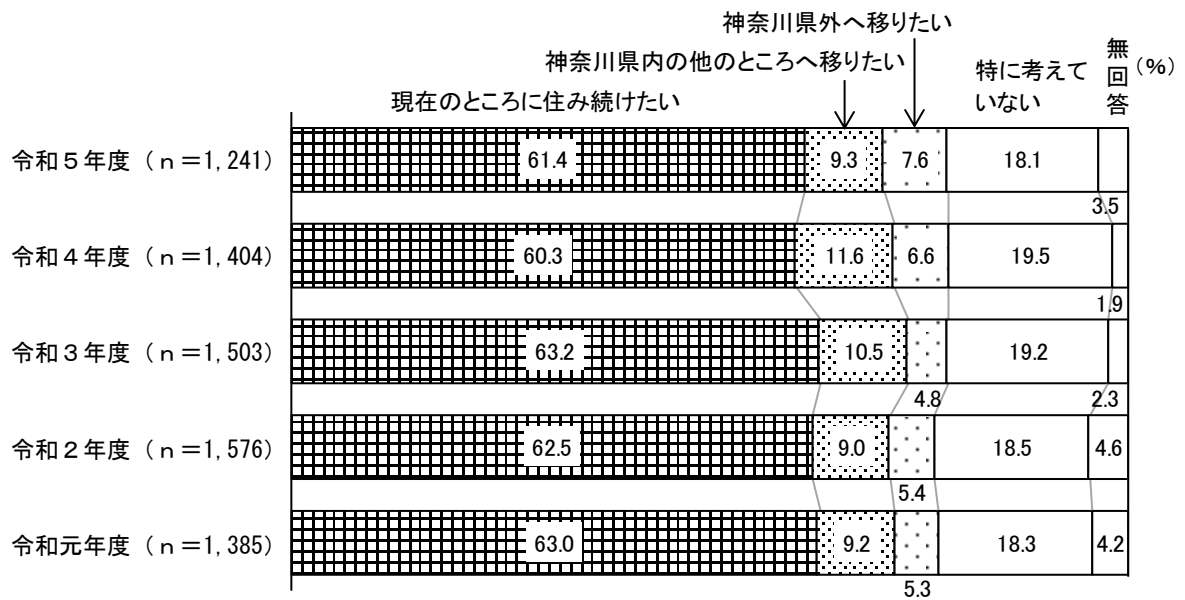
【全体の状況】

今後も現在のところに住みたいか尋ねたところ、「現在のところに住みたい」が61.4%で最も多かった。また、「神奈川県外へ移りたい」は、7.6%であった。（図表1-5-1）

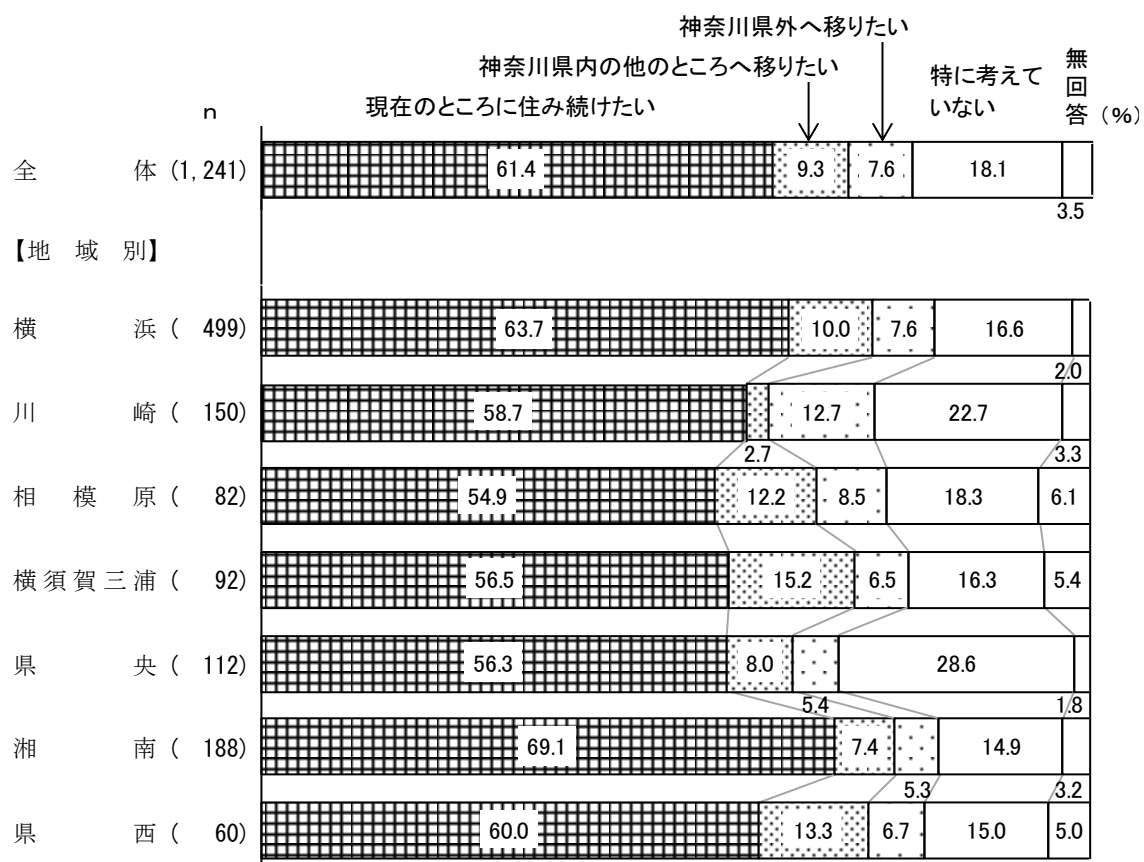
【過去との比較】

過去の調査と比較すると、「現在のところに住みたい」は、令和4年度は令和3年度と比べて2.9ポイント減（63.2%→60.3%）で、令和5年度は令和4年度と比べて1.1ポイント増（60.3%→61.4%）となった。（図表1-5-1）

図表1-5-1 定住意向－過去との比較



図表1-5-2 定住意向—地域別



図表1-5-3 定住意向一性・年代別

